☆冬バージョン

こちょうらんの育て方

初冬から初春まで（12,1,2 月末まで）

良い置き場所〇ーとにかく暖かい部屋。

できれば最低温度が 10℃以上のところ。暖房の入っている場所。（18℃以上が最も良い。）
居間、オフィス内、マンション内ならどこでもOK。（注意）エアコンの直風は避けてください。
＊昼間に窓際などの日光の当たる場所に置いたら、必ず夜は暖かいお部屋に戻してください。

悪い置き場所 ×ーとにかく寒いところ。

外はもちろんのこと、玄関など外の冷たい風にあたりやすいとこは絶対に避ける。
窓際に置く際は窓から離しておいてください。5℃以下になると胡蝶蘭の成長が止まり、
3℃以下で少しずつ枯れていきます。「りんご」の近く（りんごから出るエチレンガスが花を枯らします）。

水やりー1.5 ヶ月に一回（人肌のぬるま湯が良い）。

出荷時は水を与えていますので、１ヶ月以上は与えないこと。（表面が乾いていてもあげない）
鉢の中の奥の方まで乾いていたらあげてください。湿っていたらあげてはいけません。
＊ポイント→指を鉢の中に２、３ｃｍほど突っ込んでみて、湿っているようであればまだ与えてはいけません。乾いているようでしたらラッピングを外して、タップリ与えてください。水やりはメリハリが大切です。　☆寒いので水は人肌のぬるま湯にして与えると良い。
病院など日中も夜間もエアコンが常に入ってる所、常時 20℃～ 25℃
温度が保てるところは２週間に１回程度お水を与えてください。

霧吹きー天気の良い日の午前中に１回（できるだけ毎日）。

湿度を十分に保つため、正午までにスプレーでお花全体に吹きかけてください。
『花』…花の裏側からスプレーしてください。（表から吹きかけると受粉して花が落ちる可能性があるため）
『つぼみ』…花を咲かせるために、水・湿度を必要とするため、直接スプレーしてください。
『葉』…しっかりスプレーしてください。葉の全体から水分を吸収します。
胡蝶蘭は湿度 60％の環境を好みます。スプレーノズルを調節して細かい霧になるようにして、50 ㎝～１メートル離れたところからふんわりと与えてください。

肥料ー冬は気温が低く、肥料を吸収しないため与えない。

胡蝶蘭販売ランノハナドットコム
（クマサキ洋ラン農園）
〒753-0212 山口県山口市下小鯖 2073
電話番号：083-927-0902
ＦＡＸ：083-927-0201
mail：info@rannohana.com
HP：http://www.rannohana.com

クマサキ　検索

動画が分かりやすい！
↓

↑ユーチューブＹＯＵＴＵＢＥ
クマサキ洋ラン農園オリジナル
冬の育て方動画配信中！